

**6月は「こころのきずなを深める」月間です。**

6月は心のきずなを深める月間です。学校・家庭・地域が連携し、児童同士だけでなく、児童と教職員、保護者や地域住民等との「心のきずな」を深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指して、いじめの未然防止に重点を置いた取組を実施しています。

6月5日（金）の全校集会で、子どもたちの前で「いじめ」について話をしました。まず、昨年度に行ったアンケートの、ある質問項目と、その結果を紹介しました。

質問項目：いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか？

- 選択肢 ① いけないことだと思う・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90%  
 ② いけないことだとは思わない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0%  
 ③ 理由によってはいけないことだとは思わない。・・・・・・ 10%

アンケートの結果から、八幡小のほとんどの子ども達はいじめを「いけないことだ」と考えていることが分かりました。そして、「いけないことだとは思わない」つまり、「いじめてもよい」と考えている人は一人もいませんでした。しかし、気になったのは「理由によってはいけないことだとは思わない」と答えている子どもが10%いたことです。これは、言いかたをかえれば「理由によってはいじめてもよい」と考えている、ということになってしまいます。

「いじめてもよい理由って、どんな理由だろう？」と考えてみました。何日も何日も考えたのですが、やはり「いじめてもよい理由なんてない」という結論になりました。たとえトラブルがあったにしても、その解決方法が「いじめ」しかない、ということはありません。きっと他の方法があるはずです。このことについて、クラスでも考えてみてください、と投げかけて話を終えました。

「こころのきずなを深める月間」では、学校全体や、各クラスで様々な取組を行いました。その総まとめとして、6月29日（月）の2時間目に1・4年生の人権集会在、4時間目に2・5年生の人権集会在が行われました。3・6年生は7月1日（水）に行われる予定です。

6月の学びを生かして、いじめのない学校にしていきましょう。

**先生たちも成長するために学んでいます。～公開授業と授業研究会～**



八幡小の子どもたちは、日々の授業に真剣に取り組んでいます。授業を見回っていると、子どもたちが一生懸命に考えている姿、タブレットを使って交流している姿、班を作って話し合っている姿を見ることができます。子どもたちの頑張りど、成長を感じます。

八幡小の先生たちも、授業をよりよくするために学んでいます。八幡小では、先生たち一人一人がテーマを決めて授業研究をしています。公開授業では、ほかの先生方に授業を見ていただいて、その日の放課後に、先生たちが集まって授業についての意見交流をしています。

子どもたちと先生、一緒になってより良い学びを作り上げていきましょう。

## 地域の皆様から多くのことを学んでいます。ありがとうございます。

八幡小学校は玉名荒尾地域、荒尾市、八幡地区の地域の方々に支えられ、見守られています。学習についても、地域の皆様や地域の資源からたくさんのお話を学ばせていただいています。いつも、ありがとうございます。(下記以外にもたくさんお世話になっています。全部載せられず申し訳ありません)



3、4年生は、人権啓発センター・児童センターで、坂田さんから、部落差別をはじめとする人権について講話をしていただきました。人権の大切さを改めて学びました。



5年生は、有明海の干潟でマジック釣りをしました。シャク獲り筆を使ってたくさん釣ることができました。釣ったマジックは家に持ち帰って、おいしくいただきました。



玉名法人会の方々に来ていただいて、6年生に租税教室をしていただきました。私たちの暮らしを支える税金の大切さについて学ぶことができました。



5年生は、野原八幡宮の境内で、月田さんから、御田植祭についてお話をいただきました。地域の大切な伝統行事について学ぶことができました。

八幡小学校のホームページでは、児童の「学校生活の様子」を発信しています。ぜひご覧ください。(右のQRコードから見るができます)

